

# 会報 アリゼタイムズ Alize Times



「私たち ALIZE は誰もが生きていく上で必要な『福祉』に、『音楽』や『スポーツ』、『国際交流』などさまざまな活動を掛け合わせていくことで、これまで関わりの少なかった方々の『接点』をつくり、京都というまちに多様性という価値観を根付かせていきたいと考えます。」（「ALIZE」のホームページより）

「多様性を京都に」を標榜する ALIZE の活動の中から、9月8日に開催した「キッズディスコ-For Deaf Children-」をご紹介します。

ALIZE の副代表であるアレックスはヘルパーとして働く一方、DJ としても活動しています。これまでも、子どもたちがさまざまなアートと触れ合えるイベントに積極的に参加してきました。また、今春から ALIZE のヘルパーに加わった中村は、手話を通して聴覚に障害のある方々と長い間つながってきました。

そんなメンバーが話し合う中、「Deaf Children（聴覚に障害のある子どもたち）」が音楽やアートを楽しめるイベントを考えたいと、今回の企画が持ち上がりました。

聴覚障害児放課後等デイサービス「にじ」の子どもたちの参加を念頭におき、「にじ」の職員のみなさんと相談しながら準備を進めました。また、アレックスと繋がりのあるアーティストのみなさんや「クラブ メトロ」が企画の趣旨に賛同して力を貸してくださいました。

他にも聴覚に障害のある中高生や大学生の情報保障の活動をしている NPO 法人「ゆに」による要約筆記や、京都光華女子大学言語聴覚専攻の高井小織先生の呼びかけで参加してくれた学生ボランティアの協力で当日を迎えることができました。

当日はあちこちで、子どもたちのはじける笑顔を見ることができました。

### 《キャンディーアート》



元パティシエ 脇田ヘルパー担当のコーナー。できたて熱々の飴を好きな型に流し込んでいきます。冷えるのを待って型から取り出し、透明な飴の板に貼り付けて・・・キャンディーのスタンドグラスのできあがり！  
光を当てると幻想的な模様が・・・。  
最後はハンマーでパリ～ン！  
おいしくいただきました(\*^o^\*)



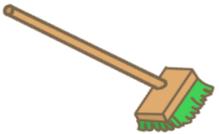
### 《ライブアート》



アーティストのジョナさんと、アートプランナーのアリスさんが担当。準備された画材はチューブや泡たて器、デッキブラシ・・・好きな色の絵の具を流す！飛ばす！こする!!ベニヤ2枚分の大きなキャンバスに自由に描きます。初めは戸惑っていた子どもたちですが、心を解放するのに時間はかかりませんでした。  
最後は「絵の具のリンク」を滑走するスケーターのよう！  
本当はジョナさんが事前に仕込んであったテープを剥がすと「キッズディスコ」という文字が浮かび上がる予定でしたが、子どもたちが頑張りすぎて、テープの裏まで絵の具がしみ込んでしまいました(^^;)でも「これもアート♡」と担当者たちはおおらかです。



また、別に準備した模造紙に黙々とイラストを描き続ける子どもたちの姿も見られました。



## 《打楽器 & ダンス》



音頭バンド サポーヨシのキヨシさんと新井さんが打楽器を、大阪 古川橋 Dance studio ZOU 講師のチヅルさんと林さんがダンスを担当。会場となった「クラブ メトロ」の防音・音響設備を利用して

重低音を身体で感じてもらいながらダンスや打楽器の演奏に挑戦しました ♪



キヨシさんと新井さんはたくさんの打楽器を持参して、身体に響く音楽の楽しさを伝えてくださいました 🥁🥁



チヅルさんと林さんは、ダンス教室の子どもたちや、林さんの母校（比叡山高校）のダンス部の高校生と一緒にダンスを指導。年齢の近いみなさんがモデルを示してくれたので、子どもたちにはわかりやすかったようです ♪

ちょっと照れくさかった子、ノリノリで弾けた子、マイペースで打楽器をたたき続けた子…それぞれの「楽しみ方」が見られました。

あっという間の2時間半でした。「クラブ メトロ」のドアを出た途端「今度はいつ？」と子どもたち。

参加してくださった保護者の方からも「日頃は見られない表情を見ることができました」と嬉しい感想をいただきました。

みなさんのご協力で、子どもたちの笑顔あふれる空間が創り出せたことに感謝！



コーナーとコーナーの隙間でDJ体験も♡



## 賛助会員募集!!

当法人の趣意に賛同してくださる、企業、団体、個人の方々を賛助会員として募集しております。趣意にご賛同してくださる方は 入会申込書をお送りしますので当法人の E メールにご連絡ください。

**Email**

kyoto.alize@gmail.com

「NPO 法人ALIZE」で

